

## 総合的な学習の時間学習指導案

- 1 日 時 令和5年5月16日(火) 第5校時
- 2 場 所 5年生教室
- 3 学 年 第5学年 男子5名 女子5名  
自閉症・情緒障害特別支援学級 第5学年 女子1名 計11名
- 4 単元名 「神石マイスター～神石の良いところ、教えましょう～」
- 5 単元について

## ○児童観

4月当初、児童に今年度何をしたいか問いかけたところ、「キーホルダーを売りたい」「今年もパンを売りたい」「野菜を売りたい」などの昨年度と同様に何か自分たちで「売りたい」という意見が出てきた。その後、「今年度も同じようにすればよいのか」と問うと、今年度は昨年度よりも“レベルアップしたい”という意見が出てきたのでどうすればよいのか考えた。その中で「神石の良さをもっと広い範囲に広めたい」という思いをもっていることにいきついた。そこから今年度のプロジェクト名を神石マイスター～神石の良いところ、教えましょう～とスタートした。

本学級の児童は、総合的な学習の時間に大変意欲的で、話し合いの場面では、自分の想いを様々な視点から発言することができている。教諭主導の学習ではなく、どうすれば自分たちでできるのかという視点を持ち、実現可能な方法を模索したり互いの意見を聞いたりしながら自分の意見も主張しながら進める姿が見られる。

## ○単元観

本校のある神石高原町には、本町の気候を生かしたこんにゃく・ピーナーネ・神石牛・トマトなど多くの特産品があり、それらに携わっている人は想いをもち生産されている。子どもたちは、それらに触れ自分たちの町の良さについて学び、想いも知ることでより深い部分で「神石の良さ」に触れられると考える。

本単元では「神石マイスター」として、神石の良さは何なのかということをもの・人・歴史から学習していく。また、神石高原町の一員として、町の良さ（特産品・想い）を多くの人に知ってもらいたいという気持ちを持ち、できることは何かを考え、実行していく。

まず、課題発見力神石の良さを知るために特産物・生産者について調べることで、子どもたちが主体となって学習活動を進めていくことができる。

1学期には、自分たちが売りたいものを決める。それに神石の良さを付加するにはどうするのかという課題をもち、神石の特産物がなぜ特産物とされているのか調べ、その中で生産者の方々の想いを知ることによって良さを多面的に分析していく。そして、自分の考えをまとめ売るものに生かす。以上のことは、地域の特徴やよさを理解することにつながると考えられる。また、特産品である事実を知るのではなく、その理由を知ることによってそれらの背景も売りたいと考えるようになってほしい。

2学期には、神石高原町の良さが伝わるものを売ることに向けて、自分たちに今できる最大のことは何かを考え、実行する。そこでは、自分たちの想いと地域・生産者の想いが離れていないか何度も意識することができ、多くの意見を求めるようになることを考える。その上で売るものに対する想いを膨らませ、どうすればこの想いを届けられるのかという課題をもつことができる。そのなかで、振り返り力今までの自分が地域に対してどのような想いをもっていたのか、もつことができたのか振り返る機会とする。また、課題解決力必要な情報を身近な人から集め、それぞれで考えた売りものを検討することは、協働的な学習の場、コミュニケーションの機会として生きる。

3学期には、課題解決力今までの学習をまとめ、神石の良さが広まったのかについて検証する機会をも

つ。また、その中で自分たちの想いを継続的に伝えるための方法を考えることも可能である。この活動を点で終わらせることなく線として捉え、自分たちにできる方法を考えるようになってほしい。

また、学校経営構想のキーワードが「チャレンジ」であり、学校として求める児童の姿に近づけることができ、高校入試制度の変更にも対応できる力をつけられる可能性もある。

このように、地域の方から学び、自己を振り返り、できることを考えるという活動は、改めて神石高原町の良さに気づくことができ、探究的な学習のプロセスを組み込むことも可能であることから、課題解決学習のテーマに適していると考えられる。

#### ○指導観

本単元では、子どもたちの「神石の良さを広めるために売りたい」という思いをもとに学習計画を立てていく。

指導に当たっては、まず、神石の良さを付加した売りたいものはどんなものかを考えさせ、自分の知っていることと生産者を GT として招き学んだことを関連付けていくことで、良さを深掘りさせていきたい。そして、それらと商品をどうつなげていくのか考えていく。地域の特徴・生産については、社会科・特別の教科道徳と関連づけ、特産品とされているものには理由があることを知り、地域の産業には生産者の想いがつまっていることに気づかせていく。

次に、「神石の良さが本当に広まっているのか」と新たな課題に気付かせ、自分たちにできることを考え、実行させたい。ここでは、良さが自分たちの活動で広まっているのか、良さを広めるためには時間がかかるといった2つの視点を持たせ、活動を行わせる。神石を訪れる人が求めていることを知ったり、自分たちの想いとズレていないか知ったりするために、情報を収集する活動を仕組む。解決の道筋がすぐに明らかにならなくても粘り強く対処し、解決していこうとさせたい。

単元の最後には、自分達の想いを継続的に伝えるためにどんなことができるのか今までの学習を振り返ったり思考したりする場面をもつ。自分たちの考えたことややってきたことを根拠に活動をおこなうことで、自分たちのしていることは自分の周りだけでなくもっと大きなもの（地域社会）も動かせることに気づかせたい。

課題発見力	地域の良さにこだわり、身近な「もの・想い」を学習対象にする。
課題解決力	自分たちのしたいことを計画し、協働的に検討しながら実行させる。
振り返り力	視点を決めて振り返りを行ったり、ルーブリック評価を取り入れたりさせる。

## 6 単元の目標

身近な「もの・想い」に関わったり、地域の良さを広める取組を行ったりすることを通して、地域への想いや大切にしていきたいものを守っていくためにしていることが、地域を少しずつ変えていくことを理解し、この町の良さを伝えるために自分達に今できる最大のことについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

## 7 本校で育てようとする資質・能力

課題発見力	課題設定し、解決する方法を考える。
課題解決力	よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめることができる。
振り返り力	学んだことを自己の生き方につなげて振り返ることができる。

## 8 単元の評価規準

評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元 の 評価 規準	<p>①理想の商品に向けて、自分がすべきことや、友達や地域の人達と協力しながら課題解決に取り組む必要があることを理解している。 (①知識)</p> <p>②神石の良さを付加した商品開発のために行うことを、多様な視点を持ち、適切な方法で調査を実施している。 (②技能)</p> <p>③特産物や地域の人々の思いや取り組みを理解し、神石のよさを伝えるものを売りたいという願いをもつことは、自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>	<p>④来見地区の特産物や自然の良さから、何ができるか考えている。(課題発見力)</p> <p>⑤商品開発のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。</p> <p>⑥収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさをつたえる」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。</p> <p>⑦「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。(課題解決力)</p>	<p>⑧地域の特産物や自然の良さについての課題を設定し、計画を立て取り組んだことを振り返っている。</p> <p>⑨自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。</p> <p>⑩地域の良さを知り、地域のために自分にできることを考え行動しようとしている。 (振り返り力)</p>

## 9 単元におけるルーブリック(思考力・判断力・表現力等⑦)

A	B	C
「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、友達の考えを取り入れながらよりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。	「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。	「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、よりよい考えを検討することができず、自分の言葉でまとめることができない。

10 学習過程ごとの主な学習活動と評価規準 (全70時間)

	学習過程ごとの主な学習活動	評価規準
<p>一学期</p>	<p>4月</p> <p>【課題設定】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何をしたいか考える。</li> <li>・したいことの実現に向けて、今何をすべきなのかを考える。</li> </ul> <p>・4年生の時は、パン屋さんで頼んでパンを作ってもらって売ったよ。</p> <p>・ほかにも小物を作って売ったね。</p> <p>・5年生では、4年生でやったことのないようなものを売ってみたいね。</p> <p>・神石の良さを伝えるということは、変えずにしていきたいことだね。</p> <p>今年も「売る！」ということになりそうです。</p> <p>周りと同じもの作っても... 新しさ+神石の良さをレベルアップ!したい!</p> <p>年間テーマ</p> <p>神石の良さを広めるために自分たちは何ができるだろう</p> <p>4年生</p> <p>売りたい</p> <p>のほり、はた、ポスター、歌や印刷を作る、ターゲット→チラシ作り、町内放送、お礼文、知らない人に声をかける。</p> <p>5年生</p> <p>自分達でやる</p> <p>1人1人持参</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所交渉</li> <li>・作成</li> <li>・材料</li> </ul> <p>レベルアップ</p> <p>あきらめない改善、接客→商品を覚えてもらう、自分たちで意見を出す↓出来る、協力する、勇気を出す、かなもがた、チラシ作り(動き)、はまもがた</p> <p>【プロジェクト名】</p> <p>神石マイスター～神石の良いところ、教えましょう～に決定しました!</p>	<p>④来見地区の特産物や自然の良さから、何ができるか考えている。(課題発見力)</p>

5月

【課題設定1】

○自分たちの売ってみたいものはなんだろう。

- ・自分たちでできる商品について。
- ・神石の良さを伝えらえる商品について。

どうすれば神石の良さを詰め込んだ商品ができるだろう。

神石の良さは、「自然」と「特産物」に分けられるね。

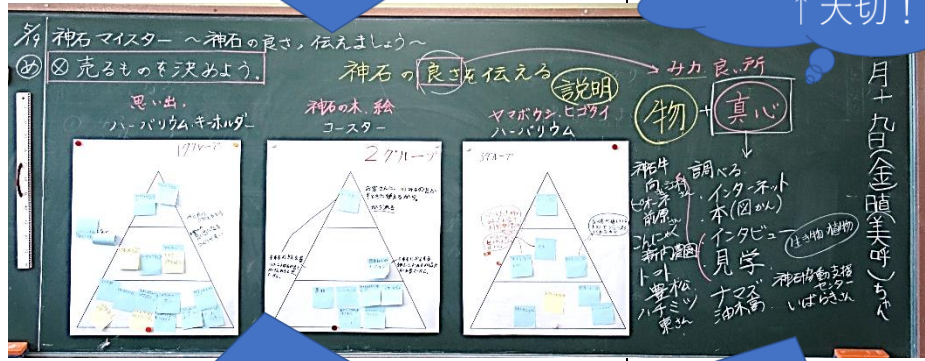


ただ、売ればいいんじゃないんだよなー。

神石の良さをプラスしないとね☆

物を売ればそれでいいの？

神石の魅力を伝えなくちゃ！  
「物」+「真心」  
↑大切！



これを売ることが神石の良さを伝えることになるのかな？

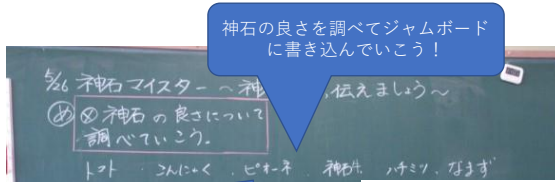
どんな情報収集があるかな？

【情報収集1】

○自分たちの知っている神石の良さを出す。

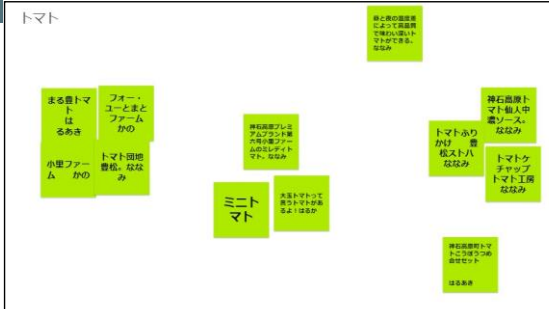
- ・神石高原町内の特産品について。
- ・なぜそれが特産品として売られているのだろう。

②神石の良さを付加した商品開発のために行うことを、多様な視点を持ち、適切な方法で調査を実施している。



神石の良さを調べてジャムボードに書き込んでいこう！

特産品の名前はすぐ出てくるね☆



- 特産品として売られている理由を知る。
- ・GTに話を聞く。
  - ・生産者の考える神石の良さについて
  - ・生産者の想い、特産物の歴史にふれる。

- ⑦「神石のよさを伝える」ことにつながるための活動について、よりよい考えを検討し、自分の言葉でまとめている。（課題解決力）

ゲストティーチャー



神石の良さとは？

お話を聞いて  
神石高原の良さは、おいしいものが  
あって自然豊かだと知りました。

農園 見学



神石の良さとは？

6月

- 地域の良さを伝える商品とはどんなものか考える。
- ・親にアンケートをする。
  - ・観光客にアンケートする。
- 情報収集をする。
- ・どんなものが欲しいかではなく、良さを伝える商品とは何なのか
  - ・他地域の特産品を生かした商品を調べる。

- ①理想の商品に向けて、自分がすべきことや、友達や地域の人達と協力しながら課題解決に取り組む必要があることを理解している。

【整理分析1】

- 収集した情報を整理・分析する。
- ・調べたことを整理してまとめる。
  - ・他地域と比較し、GTの想いやアンケート結果と似ているものや近いものはなんなのか分析する。

- ⑤商品開発のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。
- ⑨自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。

～神石の良さ～

<p>～自然～ 木・森に囲まれている。 緑がたくさんある。 田んぼや畑が多い。 生き物・植物が豊富。 ヤマボウシ・ヒゴタイ モリアオガエル オオサンショウウオ</p>	<p>～特産物～ トマト こんにゃく ピオーネ 神石牛 はちみつ・なまず お米</p>	<p>四仙人</p>
---	---	------------



【まとめ・表現1】

○商品開発する。

- ・情報分析したことから売りたいものとのつなげ，商品開発する。
- ・神石の良さがそれで伝わるのか検討する。



販売するもの決定！

神石の良さをつめこんだキーホルダー！

製作は、分業でやっていきます。



自分ができそうなところを選びました。

デザインの中に特産品を取り込みました

キーホルダー出来上がりイメージ図



一学期

2 学期

【課題の設定 2】

○ 1 学期の活動からこれから取り組みたいことを考える。

- ・ 商品を実際に売る。
- ・ 商品の宣伝方法を考えたい。

○ 宣伝方法を考える。

- ・ 売れる方法ではなく、良さを伝えるという視点で考える。

【情報収集 2】

○ 実現に必要な情報を集める。

- ・ 宣伝方法を調べる。
- ・ 販売してくれそうな場所を調べる。

【整理・分析 2】

○ いろいろな人が商品を手に取ってくれること、神石の良さを発信するという 2 つの視点で、これまで収集してきた情報を整理・分析し、活動の改善をする。

【まとめ・表現 2】

○ 準備をする。

- 例 商品の名前  
PR の仕方  
広告など  
売り方

5年生がシェイカーキーホルダーを売ります!!!  
来見小学校 5年生が神石の良さを伝えるために四仙人のシェイカーキーホルダーを182ステーションで売ります!

日時 2月17日(土) 10時~12時

場所 182ステーション

ねだん 1つ400円

売り切れしたい終了します

こんな感じです!



トマト仙人

ぜひ買ってください!



こんにやく仙人



ピオーネ仙人



神石牛仙人



蜂蜜姫



神石高原町182ステーション  
広島県神石郡神石高原町坂瀬川 5146-2

校内放送

(校内放送)

5年生からお知らせします。2月17日土曜日に、182ステーションで四仙人の入ったキーホルダーを売ります。これは僕たちが総合的な学習の時間に作った物です。くわしくは来見小学校HPをご覧ください。ぜひ、家族の人と一緒に買いに来てください。繰り返します。これで5年生からの放送を終わります。

町内放送

(町内放送)

来見小学校5年生から、お知らせします。2月17日土曜日10時から182ステーションで、四仙人が入ったキーホルダーを売ります。これは僕たちが総合的な学習の時間に作った物です。くわしくは来見小学校HPをご覧ください。ぜひ、家族の人と一緒に買いに来てください。繰り返します。これで来見小学校5年生からの放送を終わります。

神石のシェイカーキーホルダー

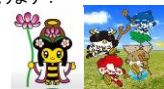
182ステーションで来見小学校の5年生が四仙人と はちみつ姫の入ったシェイカーキーホルダーを売ります!

日時は2月17日土曜日で10時~12時です。

※売り切れしたい終了します。

値段: 1個400円!

ぜひ買いに来てください。



ピオーネ仙人

こんにやく仙人

トマト仙人

神石牛仙人

はちみつ姫

【実行】

○ 計画を実行に移す。

【課題の設定 3】

○ 2 学期の活動を振り返る。

- ・ 神石の良さはどこまで広まったのか検証する。
- ・ 自分たちの今までの活動をこれで終わらせて良いのか考える。

○ 次の課題を発見する。

- ・ 次にできることは何だろう。

⑧ 地域の特産物や自然の良さについての課題を設定し、計画を立て取り組んだことを振り返っている。

⑤ 商品開発のために必要な情報について、多様な方法の中から効果的な手段を選択している。

⑥ 収集した情報を比較・分類することで、「神石のよさをつたえる」ことにつながるものとして整理しながら、解決に向けて考えている。

⑨ 自他の考えを生かしながら友達と協働して取り組もうとしている。

③ 特産物や地域の人々の思いや取り組みを理解し、神石のよさを伝えるものを売りたいという願いをもつことは、自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。



三 学 期	<p>3学期</p> <p>【まとめ・表現3】</p> <p>○自分たちのしたことが継続されるためにはどうすればよいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町に交渉し、協力を仰ぐ。</li> <li>・ついた力や成長したこと、生活に生かしたいことなど振り返りをする。</li> </ul> <p>【実行】</p> <p>○神石の良さを伝え続けるという視点で商品を考える。</p> <p>例 くるみセット       ショップバッグ       包装紙</p>	<p>⑩地域の良さを知り、地域のために自分にできることを考え行動しようとしたことに対して、計画に照らし合わせて振り返っている。 (振り返り力)</p> <p>③特産物や地域の人々の思いや取り組みを理解し、神石のよさを伝えるものを売りたいという願いをもつことは、自分達が探究的に学習していることの成果であることに気付いている。</p>
-------------	--	--

1 1 本時の学習

(1) 本時の目標

自分たちが考える、神石の良さを伝えられる商品について考えることができる。

(2) 本時の評価規準

売りたいものを友達の考えを取り入れながら、よりよい考えを検討し、自分の言葉で表現しようとしている。

(3) 準備物

〔児童〕 考えを表したワークシート等 ピラミッドチャート

(4) 学習の展開 (5 / 70 時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準および判断基準 (方法)
1 学習計画をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの活動をふり返り、今日の活動の見通しをもたせゴールを確認させる。</li> <li>・資質・能力のカード及びルーブリックを提示し、自分のゴールを意識させる。</li> </ul>	
2 めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてを児童に考えさせる。</li> </ul>	
神石の良さを伝える売りたいものを決めよう。		
3 今日の学習の流れを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と本時の流れを確認し、活動の意欲を高める。</li> </ul>	

<p>4 3グループに分かれ、自分たちの考えを紹介する。</p> <p>①3つのグループに分かれる。</p> <p>A グループ (3人)</p> <p>B グループ (4人)</p> <p>C グループ (4人)</p> <p>②グループごとに、それぞれのチームの考えを紹介する。</p> <p>③質問・意見交流をし、おたがいの商品の理解を深める。</p> <p>5 もとのグループに戻り、出てきた意見を伝え合い、よりよい考えになるよう改善する。</p> <p>6 全体でそれぞれの考える商品を発表する。</p> <p>7 振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もとのグループに戻ったときに、出た意見を伝えられるように、責任をもって話し合いをしなければならないことを確認する。</li> <li>・なぜその商品を選んだのか理由も問うことを確認する。</li> <li>・他グループからの意見を分類し、それを吟味させる。</li> <li>・決定した商品を報告し合う。</li> <li>・本時の学習を振り返る。 自己評価をする。</li> <li>・次時からの見通しを立てておく。</li> </ul>	<p>○売りたいものを友達の考えを取り入れながら、よりよい考えを検討し、自分の言葉で表現しようとしている。 (発言・行動・ワークシートなど)</p>
---	--	--

1 2 板書計画

5/16 神石マイスター～神石の良いところ、教えましょう～

め 神石の良さを伝える売りたいものを決めよう。

売りたいもの

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

神石の良さ



○○だから神石の良さが伝わる！

○○を売ろう！

本時の流れ

- ①自分たちの決定した商品について説明する。
- ②グループにもどって最終決定をする。
- ③全員で売るものを決める。

